

4-5 発表・報告

氏名	題名	誌名	年月
笹川 裕史・山根 正伸・鈴木 透・吉田 剛司・鎌形 哲稔・原 慶太郎	丹沢山地におけるブナ林衰退の把握	第117回日本森林学会大会学術講演集	2006.4
Masanobu YAMANE, Hiroshi SASAKAWA, Tsuyoshi YOSHIDA, Tamotsu AMEMIYA, Toru SUZUKI, Keitaro HARA	Developing GIS based information system for participatory local nature restoration project: a case study on Tanzawa Mountains, Kanagawa, Japan	ICLEE2006 Abstract	2006.6
Toru SUZUKI, Masanobu YAMANE, Hiroshi SASAKAWA, Tsuyoshi YOSHIDA, Keitaro HARA	Evaluation on the impact of deer overabundance in developing the ecosystem management strategy	ICLEE2006 Abstract	2006.6
Tsuyoshi YOSHIDA, Sho SUGIMURA, Hiroshi SASAKAWA, Masanobu YAMANE, Toru SUZUKI, Norihisa TANAKA, Keitaro HARA	Landscape-scale assessment of exotic plant invasions in the Tanzawa Mountains	ICLEE2006 Abstract	2006.6
鎌形 哲稔・吉田 剛司・鈴木 透・李雲慶・笹川 裕史・山根 正伸・原 慶太郎	現存植生図と森林施業図による統合植生区分図作成手法の検討	景観生態学11(1)	2006.8
山根 正伸	ロシア 森林劣化を加速させる違法伐採 (特集:苦悩と希望の緑)	森林環境 Vol.2006 (2006) pp. 23~28、森林文化協会	2006.10
山根 正伸	ロシア極東地域における森林資源利用の課題、ロシア=中国木材貿易を中心として。	「北東アジアにおける森林資源の商業的利用と先住民民族」。(佐々木史郎編), 人間文化研究機構国立民族博物館	2006.10
山根 正伸	増える中国の木材需要と中露国境の木材貿易	グローバルネット194号、(財)地球人間環境フォーラム	2007.1
松村 直人編著 (分担執筆)	神奈川県丹沢大山地域での生態系管理の取り組み	GISと地域の森林管理 林業改良普及双書156 全国林業改良普及協会	2007.3
田村 淳・小林 俊元・永田 幸志・栗林 弘樹・山根 正伸	第1次神奈川県ニホンジカ保護管理事業における植生定点モニタリング	神奈川県自然環境保全センター報告4:7-20.	2007.3
小林 俊元・末次 加代子・山根 正伸・田村 淳・永田 幸志・溝口 暁子	2005年度神奈川県ニホンジカ (Cervus nippon) 保護管理事業におけるニホンジカ個体群調査報告	神奈川県自然環境保全センター報告4:21-31.	2007.3
山根 正伸	環境問題 極東ロシアの森林資源をめぐる最近の動向、中国との関係を中心として	紙・パルプ、Vol.57, No.3 (2007/3) (通号 705) pp. 16~22 日本製紙連合会	2007.3
Masanobu Yamane	Overview of forest degradation and conservation efforts in the Amur basin in the twentieth century, with a focus on Heilongjiang province, China	総合地球環境学研究所アムール・オホーツクプロジェクト会報誌(白岩孝行編集)第4号,111-122. 総合地球環境学研究所総合地球環境学研究所	2007.3
山根 正伸・田村 淳・笹川 裕史・藤澤 示弘・越地 正・鈴木 透・吉田 剛司・原 慶太郎	丹沢山地の自然再生におけるブナ林保全マップの試作	造園技術報告集No.6	2006.11
越地 正・山根 正伸・田村 淳	丹沢山地におけるブナハバチの加害と影響に関するブナ年輪幅変動の解析	神自環保セ研報3:11-24	2006.3
西村 幹雄・藤澤 示弘	丹沢大山地域の大型菌類について (II)	神奈川県自然誌資料 (28) : 45-48	2007.3
平英彰, 藤澤示弘, 齋藤央嗣ほか	これまで選抜されたスズメバチ不稔個体の概要	第117回日本森林学会大会学術講演集	2006.4
田村 淳	丹沢大山総合調査で明らかになったこと	NORNAC	2006.11
田村 淳	神奈川県絶滅危惧 IA類のミヤマアオダモの分布	FLORA KANAGAWA64:790-791.	2007.2
田村 淳	神奈川県新産のウスゲミヤマシケシダ (イワデンダ科)	植物地理分類研究54(2):149-150.	2006.12
田村 淳	ニホンジカの採食圧下における自然植生の保全	主張する森林施業論 (分担執筆). pp272-282. 森林施業研究会編	2007.3
田村 淳・小林 俊元・永田 幸志・栗林 弘樹・山根 正伸	第1次神奈川県ニホンジカ保護管理事業における植生定点モニタリング	神奈川県自然環境保全センター報告4:7-20.	2007.3
小林 俊元・末次 加代子・山根 正伸・田村 淳・永田 幸志・溝口 暁子	2005年度神奈川県ニホンジカ (Cervus nippon) 保護管理事業におけるニホンジカ個体群調査報告	神奈川県自然環境保全センター報告4:21-31.	2007.3
越地 正・山根 正伸・田村 淳	丹沢山地におけるブナハバチの加害と影響に関するブナ年輪幅変動の解析	神自環保セ研報3:11-24	2006.3
石川芳治・白木克繁・戸田浩人・若原妙子・鈴木雅一・内山佳美	丹沢堂平地区のシカによる林床植生衰退地における土壌pH値の変化	第117回日本森林学会大会学術講演集	2006.4

氏 名	題 名	誌 名	年 月
笹川 裕史	高分解能衛星画像を用いた崩壊地の抽出	緑の斜面41 神奈川県治山林道協会	2006. 7
笹川 裕史・山根 正伸・鈴木 透・吉田 剛司・鎌形 哲稔・原 慶太郎	丹沢山地におけるブナ林衰退の把握	第117回日本森林学会大会学術講演集	2006. 4
Masanobu YAMANE, Hiroshi SASAKAWA, Tsuyoshi YOSHIDA, Tamotsu AMEMIYA, Toru SUZUKI, Keitaro HARA	Developing GIS based information system for participatory local nature restoration project: a case study on Tanzawa Mountains, Kanagawa, Japan	ICLEE2006 Abstract	2006. 6
Toru SUZUKI, Masanobu YAMANE, Hiroshi SASAKAWA, Tsuyoshi YOSHIDA, Keitaro HARA	Evaluation on the impact of deer overabundance in developing the ecosystem management strategy	ICLEE2006 Abstract	2006. 6
Tsuyoshi YOSHIDA, Sho SUGIMURA, Hiroshi SASAKAWA, Masanobu YAMANE, Toru SUZUKI, Norihisa TANAKA, Keitaro HARA	Landscape-scale assessment of exotic plant invasions in the Tanzawa Mountains	ICLEE2006 Abstract	2006. 6
ブア ムーイハウ、露木 聡、李 定洙、笹川 裕史	QuickBirdデータを用いたマレーシア・サバ州Klias保護林における火災被害を受けた泥炭湿地林の評価	第117回日本森林学会大会学術講演集	2006. 4
鎌形 哲稔・吉田 剛司・鈴木 透・李雲慶・笹川 裕史・山根 正伸・原慶太郎	現存植生図と森林施業図による統合植生区分図作成手法の検討	景観生態学11(1)	2006. 8
笹川 裕史	景観域を単位とした自然再生への取り組みー丹沢大山総合調査を事例としてー	ランドスケープ研究vol170(2)	2006. 10
松村 直人編著(笹川裕史分担)	神奈川県丹沢大山地域での生態系管理の取り組み	GISと地域の森林管理 林業改良普及双書156 全国林業改良普及協会	2007. 3
谷脇 徹・笹川 裕史・藤澤 示弘・山根 正伸	神奈川県全域におけるスギノアカネトラカミキリ被害地域の分布実態	神奈川県自然環境保全センター報告4 : 41-46.	2007. 3
谷脇 徹・藤澤 示弘	スギ・ヒノキの材質劣化害虫被害について	神奈川の森林・林業	2007. 3
谷脇 徹	ブナハバチの産卵特性と幼虫発育期間	平成13～18年度丹沢山地のブナ林衰退機構の解明に関する研究調査報告書. pp24-27.	2007. 3
越地 正・山根 正伸・田村 淳	丹沢山地におけるブナハバチの加害と影響に関するブナ年輪幅変動の解析	神自環保セ研報3 : 11-24	2006. 3